

第347回教育研究評議会議事要録

1. 日時 令和2年12月15日(火) 15:00~16:45
2. 場所 大会議室(一部web参加)
3. 出席者 三浦学長、塩谷理事・副学長、二見理事・副学長、
内田理事・事務局長、谷副学長、佐野副学長、塘副学長
朝賀人間発達文化学類長、中村評議員、初澤評議員
鈴木行政政策学類長、高橋評議員、福島評議員
貴田岡経済経営学類長、末吉評議員、福富評議員
佐藤共生システム理工学類長、神長評議員、長橋評議員
生源寺食農学類長、荒井評議員、金子評議員
小野原基盤教育主管、難波環境放射能研究所長
【オブザーバー】高橋理事、緑川理事、上井監事、橋本監事
4. 欠席者 なし

5. 議事

【確認事項】

第346回教育研究評議会議事要録を原案のとおり確認した。

【審議事項】

(1) 大学院の改革について

塩谷理事・副学長から、資料1に基づき、第346回教育研究評議会(12月1日開催)において審議され、各学類教員会議等に意見聴取していた結果に対する回答があった。

また、大学院の改革に係る教育プログラムの検討体制として、大学院教育プログラム検討ワーキンググループを設置することとし、要綱案及び人選方法について提案があった。

質疑応答の中で、今後の教育プログラムの議論の場について、新研究科案確定のスケジュールについて質問があり、三浦学長及び塩谷理事・副学長から、今後も教育プログラムについてはワーキンググループだけでなく、様々なレベルで議論が必要となってくること、第151回運営会議(12月22日開催予定)において各研究科等からいただく検討状況を踏まえ、新研究科案は年明けの教育研究評議会において審議する予定であることの説明があった。

審議の結果、大学院の改革について継続して議論を進めていくこととして承認され、各学類教員会議へ、教職員専用総合案内掲載資料のうえ、報告することとした。

また、今後の手続きとして、大学院教育プログラム検討ワーキンググループの候補者について、第151回運営会議(12月22日開催予定)に各学類からの候補者を報告いただき、第348回教育研究評議会(1月5日開催予定)にて決定する

ものとした。

(2) 教員免許・教職課程実施体制の検討について

塩谷理事・副学長から、資料2に基づき、教員免許・教職課程実施体制については全学的な場で検討し、教職大学院については人間発達文化学類(研究科)を中心に検討を進めていくことについて提案があった。

また、検討にあたり、これまでの人間発達文化学類(研究科)における検討結果の提示について依頼があった。

質疑応答の中で、教員免許・教職課程実施体制の検討の議題の取り扱い方について意見があり、三浦学長から、資料の修正については検討する旨回答があった。

審議の結果、資料2の修正は引き続き検討する上で承認され、各学類教員会議へ、口頭報告することとした。

【報告事項】

(1) 書面主義・押印原則・対面主義の見直しについて

三浦学長から、資料3に基づき、文部科学省より、規制改革実施計画に基づく、書面・押印・対面の見直しについて、国立大学法人においても対応を行うよう通知があったことについて報告があり、引き続き、総務課から概要及び本学の対応、スケジュールについて説明があった。

質疑応答の中で、電子決済へ移行するにあたり、電子化に伴う決裁日の取り扱いについての現状及び意見があり、総務課から今後の参考とさせていただく旨回答があった。

各学類教員会議へ、教職員専用総合案内掲載資料参照の上、報告することとした。

(2) うつくしまふくしま未来支援センター設立10周年シンポジウムの開催について

菊地うつくしまふくしま未来支援センター(FURE)長から、資料4に基づき、うつくしまふくしま未来支援センター設立10周年シンポジウムを福島大学と共催で令和3年2月3日に開催することについて報告があった。

各学類教員会議へ、教職員専用総合案内掲載資料参照の上、報告することとした。